

第2学年 特別な教科 総合的な学習の時間		日時	令和2年10月13日(木) 第5校時
単元名	Smile プロジェクト ～因島に笑顔とつながりを～	学年・組 人数	第2学年A組(男子13名, 女子13名), B組(男子13名, 女子12名)
指導者	相原美紀, 安井盛一	場所	2年A組教室, B組教室

1 単元観

第2学年では、新型コロナウイルス感染症の影響で、本来実施される予定であった「職場体験」が中止となったため、発想を転換し、「私たちが地域のために何ができるか考え、行動しよう!」というテーマを設定し、身近な地域の課題を見だし、その改善策を考え提案するという学習を行うことにした。

本単元の学習においては、解決策の不明な現在の社会状況下で、何がより良い改善策になるのか考えていくことになるので、この学習を通して、今後の社会においての必要となる「課題発見・解決力」や「コミュニケーション力」を育成できると考える。

2 生徒の実態について

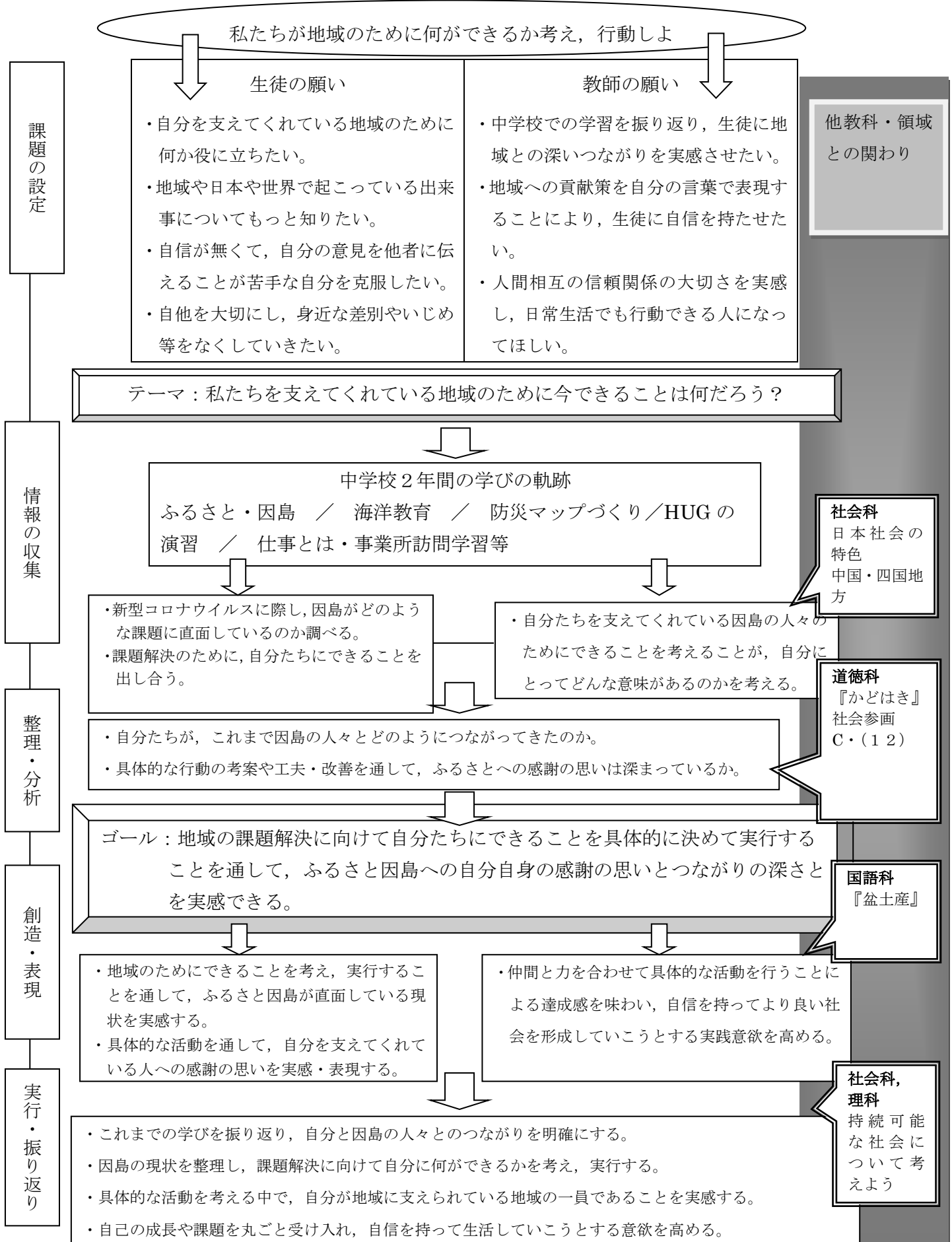
本学年の生徒は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で地域行事の中止などにより、地域とのかかわりも減ったため、積極的に社会参画する意識は高いとはいえない。しかし、自分を支えてくれた地域のために、何か役に立ちたい、地域で起こっている出来事についてもっと知りたいという意欲は持っている。また、生徒同士は協力的であり、一つのことをみんなで成し遂げようと努力することができる。普段の学習においては、班内での話し合いなどの小集団の交流はできるが、クラスや学年交流になると、自信のなさから、自分の意見を他者に伝えることが苦手と感じる生徒が多く、コミュニケーション力が十分とはいえない。普段の学習において、班内の交流から全体への交流の時に、一人一人の考えを伝え合う活動の場を十分に設定できていないのが課題である。

3 指導観

子どもの学びを充実させるために、学びの過程における各場面で、主体的な活動になるように生徒自身でプロジェクトを進めさせたい。そこで、各クラスからリーダーを選出し、総合リーダー長とリーダーを中心に学習を進める。課題設定の場面では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、因島がどのような課題に直面しているか、自らが地域に出て、地域の課題や問題点について調べる。課題解決の場面では、地域の収集した課題から自分たちに何ができるか班ごとに考え、話し合い、プレゼンテーションを行う。その中で課題解決に向けて自分たちでできることを具体的に決定する。選定したプロジェクトの実行に向け、生徒一人ひとりが主体的、協働的に取り組む活動を通して、地域と自己の生き方のかかわりについて考えることにつなげたい。また、このようなプロジェクトの実行を通して、ふるさと因島への感謝の思いと地域とのつながりの深さを実感させたい。

★『2年生 総合的な学習の時間』 構想図 (全20時間) ★

グローバル化する変化の激しい社会を生き抜き、世界で活躍できる人になるために
～地域への感謝を表すための行動を起こし、自分の生き方を考える～



3. 本時の展開

本時の目標

- ・各班の課題を解決するための具体的な取り組み案を、聞き手に伝わるように分かりやすく工夫してプレゼンテーションを行うことができる。
- ・他の班の提案をしっかり聞き、質疑応答で提案内容の理解を深めることができる。

4 本時の学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆)「努力を要する」と判断した生徒への手立て	評価規準 (評価方法)
1 前時でまとめた取り組み案を班ごとに確認し、プレゼンテーションの準備をする。	◇プロジェクトの目的、実行までの見通しなどを考えることで必要な視点に気づかせる。	
<div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px;"> <めあて>企画について説明を聞き、よりよい取り組み案を考えよう！ </div>		
2 各班のプレゼンテーションをする。	◇事前に班ごとのプロジェクト案のタイトルだけ記入したワークシートを配布する。 ◇各グループの発表の後、プロジェクト案交流シートの記入をさせる。	・相手に伝えるべき内容を選択し、分かりやすく表現することができる。(行動観察)
<ul style="list-style-type: none"> ・企画名、タイプ、企画内容など必要なことをわかりやすく発表する。 ・聞き手は、内容のメモを記入しながら聞く。 ・質疑応答をする。 ・各グループの発表 7 グループ発表 (3分) ⇒ 質疑応答 ⇒ メモを整理 (2分) 		
3 学習を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・地域の元気やつながりを生み出すために、各班が考えた取り組み案を選定できるように交流プリントの整理をする。 	◇他の班の発表を聞いて、自分の班の発表の仕方を振りかえらせる。 ◇隣のクラスでもう一度発表するための準備をする。	・次時の取り組み案の選定に向けて、交流プリントに記述されているか。

補助発問 自分たちで考えたプロジェクト案をみんなにわかりやすく伝えよう。

生徒の考え①
どうやったらわかりやすく伝えられるか。

生徒の考え②
どんなプロジェクト案があるか。

主発問 どんなプロジェクトの取り組み案がよいかしっかり考えながら、交流しよう。

生徒の考え①
・制作タイプの取り組み案がある。

生徒の考え②
・実演タイプの取り組み案がある。

生徒の考え③
・色々な取り組み案がある。

深める発問 地域が笑顔とつながりを生み出すために、やってみたいプロジェクトは何か。

みんなと交流できるようなものにしたい。

自分たちがやって楽しいもの
がいい。

コロナウイルス感染症拡大の
影響があるから、どこまでできるか。

2年総合的な学習の時間

“SMILEプロジェクト”学習の流れ

順	分野	題材	学 習 内 容	活動場所
1回 6/25	ガイダンス 課題意識	PP 身近な課題	ガイダンス ・2学期の学習する内容をつかむ。	中学校・クラス
2回 7/2	聞き取り調査 計画	家族と地域 の方々	・家族が感じている課題を整理する。 ・情報が必要な年代に対する聞き取り調査の計画を立てる。 ・質問内容・分担の計画を立てる。	中学校・クラス
3回 7/9	聞き取り調査	分担聞き取り 調査	・担当する事業所等に訪問し、質問をして情報を集める。 ・学校へ帰着後、記録用紙に整理する。	中学校・学年 中庄町内・電話
4回 7/16	課題の整理 課題設定	調査一覧 追究したい課題	・調査結果の報告をする。(クラス⇒他クラス) ・課題を整理し、追究したい課題を決定する。	中学校・クラス ⇒学年
5回 10/1	課題の解決	グループ編成 企画書の作成	・課題の解決に向けて、分野の担当を決める。 (A:制作型 B:実演型 C:その他) ・分担して企画を作る。 (①企画名 ②内容 ③必要人員 ④実施計画 ⑤予算 等)	中学校・学年・ クラス
6回 10/2	課題の解決 方法	企画書の作成	・担当分野に関する企画書を作る。 ・プレゼンテーションの打ち合わせ・練習をする。	中学校・学年 クラス
★ 7回 (本時) 10/13	課題の解決 方法	プレゼンテ ーション 解決方法の決定	・各グループが企画した内容を説明する。(質疑 応答で提案内容の理解を深める。) ・解決方法を決定する。	中学校・学年 各教室
8回 10/22	課題の解決 ・見通し	組織づくり 担当別の計 画作成	・解決方法に合った(必要な)組織を作る。(部署 とメンバー) ・部署ごとに、プロジェクト実施までの計画を立てる。	中学校・学年 クラス
9回 11/5.12	課題の解決 ・準備	制作・練習	・部署ごとに制作や練習を行う。 (最初にリーダーが目標・内容を確認し、最後に 進捗状況を確認する⇒統括係に報告)	中学校・学年 クラス
10回 11/19	課題の解決 ・準備	制作・練習	・部署ごとに制作や練習を行う。 (最初にリーダーが目標・内容を確認し、最後に 進捗状況を確認する⇒統括係に報告)	中学校・学年 クラス
11回 11/26	リハーサル	制作物の提示・ 実演の実施等	・制作物・実演のリハーサルを行い、気づきや改 善点を出し合う(相互アドバイス)。 ・アドバイスをもとに、部署ごとに当日の計画を 修正する。	中学校・学年 体育館
12回 12/10	課題の解決 ・実行	制作物の提示・ 実演の実施等	・制作物の提示又は実演の実施を行う。 ・参観者・参加者等にアンケートを行う。	中学校・学年 中庄町内・電話 等
13回 12/15	振り返り	アンケートの 集約・分析	・アンケート結果を集約し、「つながり」「元気」の 視点から振り返るとともに、新たな課題を見出 す。	中学校・学年 クラス
14回 1/16	他学年への報 告	文化発表会	・記録班の映像・画像をもとに、課題の設定から 実施・振り返りまでの学習活動の概要を発表す る。※別途、準備時間を設ける。	中学校・学年